

# 図書館だより



10月号

2022年10月21日  
安田小学校図書館



5年生が秋の食べ物を集めた籠盛りを持ってきてくれました。匂いや手触りはどうかな？

「最近本の分類がわかってきて、なんだか楽しいです」と言ってくれた子どもがいました。分類を意識して本棚を見ると、自分が手に取った本の周りに同じような内容の本が並んでいることに気がつくと思います。動物が好きなら、となりにある鳥の本に目が留まるかもしれないし、お菓子の本を探していて料理を作りたいかなかもしれない。図書館でたくさん本を手にとって、柔らかい頭でどんどん興味を広げてほしいと思っています。

## 読書まつり



毎年10月27日～11月9日は読書推進運動協議会の定める「読書週間」となっていて、公共図書館などでも催し物が準備されます。

日程は少し後ろになりますが、小学校でも11月7日から18日に「読書まつり」を行います。全校で本について郵便を送りあったり、図書委員会が読み聞かせを行ったりします。図書委員は人前でうまく読めるかなと不安を感じながらも、真剣に本をえらび練習をかさねています。ポスター作りや放送の準備など、練習の他にもたくさんやることありますが、みんなが良いものにしようと張り切っています。

図書館には新聞2紙と雑誌4誌があります。雑誌は最新号以外を借りることができます。

## 新聞・雑誌の紹介

- 朝日小学生新聞(日刊)
- 読売KoDoMo新聞(週刊)
- 子供の科学(科学の最新トピックをわかりやすく)
- たくさんのふしぎ  
(「ふしぎ」をテーマにした科学読み物 中学年から)
- かがくのとも(『たくさんのふしぎ』を読む前に)
- こどものとも(絵本やおはなしが好きな人に)

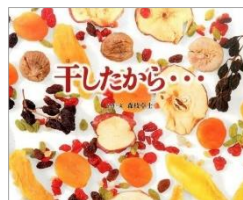
## 科学の世界にふみ出そう

科学の本は、知らなかった世界を発見する楽しさであふれています。今回は読みやすく、大人でも楽しめる本を紹介します。

### 低学年

#### 『干したから』

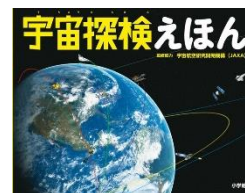
森枝卓士/写真・文 フレーベル館



干し柿にかつおぶし、パスタ。干した食べ物は軽くてかたい。でもどうして干すのかな？そのまま食べる方が簡単なのに。「乾かす」という知恵がどうして生まれ、受け継がれているのかを、世界各国の写真を交えてやさしく教えてください。

#### 『宇宙探検』

安田夏菜/著 講談社



美しい惑星写真や世界のロケット図鑑、火星基地の予想図など、宇宙を探検するための知識がぎゅっと詰まっています。自分が宇宙飛行士になったら……と想像が膨らみます。お子様と一緒に読んでみてはどうですか？

### 中・高学年

#### 『雑草のくらし—あき地の五年間—』

甲斐信枝/さく 福音館書店

『稲と日本人』など、植物を題材にした作品が国語教科書にも紹介されている甲斐信枝さんの代表作の一つです。舞台は畑の中にできた空き地、出てくるのはそこに芽を出した雑草です。5年間を通して、様々な種類の雑草が同じ場所で次々と入れ代っていく様子をポイントを押しさえて描き、植物の戦略と力強さをダイナミックに伝えます。

#### 『がろあむし』

館野鴻/作・絵 偕成社



暗くじめじめした土の隙間で、小さな虫が「食べて にげて にげて 食べて」を繰り返して、ただ生きている。その一生は8年。卵から生まれ、卵を産んで死ぬ虫とは対照的に、絵本の最初と最後のページには工事ですっかり変わってしまう町の様子が描かれている。10年の取材を経て完成した絵本。

#### 『長浜高校水族館部!』

令文ヒロ子/文 講談社



実在する高校の部活を題材にした小説。水族館部が運営しているのは、一般公開のための生き物の飼育と研究を主な活動としている本物顔負けの水族館。でも、生き物相手の毎日はいかにうまいかばかりだし、部員たちの気持ちもうまくかみ合わず……

#### 『理系脳をつくる 食べられる実験図鑑』

中村陽子/著 主婦の友社



比重の違いで色が分かれるセパレートドリンクや、アルギン酸ナトリウムを使ったつぶつぶメロンカプセルの作り方など、おいしくてワクワクする実験が盛りだくさん。作った後は「なぞとき」ページで科学の秘密を解き明かそう!